

JaNet

April 2017 No. 81

季刊ジャネット

Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

スリーエーネットワーク

Contents 目次

2017 年 4 月 25 日発行

- View from the Other Side 3
廖雅惠さん(台湾)
- あちこち日本語ご紹介(国内編)..... 4
奈良県 北葛城郡王寺町
- あちこち日本語ご紹介(海外編)..... 5
フランス アラス
- 教材紹介 6
『はじめて学ぶ介護の日本語 基本のことば』
『文法まとめリスニング 初級1 ―日本語初級1 大地準備―』
- なんでも情報 BOX 8

巻頭
寄稿

落語を世界へ ―伝統話芸で日本語と日本文化を紹介



アンスティチュ・フランセ日本(映像・音楽部門)
フランス人落語パフォーマー

シリル・コピーニ

高校で第三外国語として日本語を始め 恩師との出会いで日本語専攻へ

振り返ると、人生を「日本語」と共に歩いている僕ですが、出会いは高校生の時でした。中学では、第一外国語の英語、第二外国語は、イタリア語を選びました。

高校に入り、大学の専攻を外国語専攻にしようと思いましたが、そのためには第三外国語を勉強しなければなりません。僕の高校には珍しく日本語のクラスがありました。アルファベットしか知らなかった僕には、ひらがな、カタカナがとてもきれいに見えました。日本語の「見た目」に魅かれたのです。

高校で日本語を教えてくださいましたのは、石井明人先生です。授業は週3回で、3年かけて、ひらがなとカタカナを覚えました。他の授業の時も勉強して、漢字を覚えたりしていた僕に、「シリルはもっと上の学校で勉強したらいいよ」とおっしゃってくださいました。いつもがんばれと励ましてくださった先生の存在は大きかったです。学習者にとって良い先生との出会いは大切ですが、僕はとてもラッキーでした。

二葉亭四迷の研究で知った落語

「落語」という言葉を初めて見たのは、INALCO(フランス国立東洋言語文化研究所)で、二葉亭四迷の研究を始めてからです。

明治時代に速記技術が普及し、それによって三遊亭圓朝の牡丹灯籠が文字に起こされ、圓朝の生きた言葉が、文学作品になりました。日本文学史においてとても重要な出来事です。原文一致運動を推進する二葉亭四迷は、このことに大きな影響を受けました。落語ってどんなものなんだろう。実際に見ることはできないまま興味がどんどん大きくなっていきました。

1995 年、信州大学に国費留学した時、初めて落語に触れたのが、テレビの「笑点」です。牡丹灯籠とはずいぶん違うけど、おもしろかった。1997 年、福岡で初めて見た生の落語も、笑点の「黄色の人」、林家菊翁師匠、楽しい高座でした。

4 年後、東京に来てからは、寄席通いをするようになりました。そこで見た落語家はとてもかっこよかった。何の演出もなく、セットもない、上半身の動きと言葉だけで、客席の人々の心をわしづかみにする。僕もやっ

てみたいと思いました。外国人の感覚で、お金を払ったら簡単に教えてもらえると思ったら、そうじゃなかった。弟子入りして、何年も修行をしないと行けない。僕には無理だと思い、一度はあきらめました。

新たな出会いから実際の高座へ

INALCO を卒業して、寄席の客席で楽しんでいたら新しい出会いがありました。それが、民俗学者であり、語り部でもあるステファン・フェランデスです。彼は、明治時代の外国人落語家・初代快楽亭ブラックの研究で、京都のヴィラ九条山(アンスティチュ・フランセのアーチストレジデンス)に 1 年間滞在していました。

フランスにも、「コント」という語り部の伝統芸能があります。日本で言う「コント」ではなく、世界各地の民話を一人で話して聞かせる話芸で、落語ともよく似ています。

語り部でもある彼は、落語をフランス語に翻訳して演じています。彼の奥さん(サンドリヌ・ガルブグリア、作家・演出家)が、落語をフランス人に受け入れられるように脚本を作っています。



彼の紹介で知り合ったのが、上方落語家の林家染太師匠です。

染太師匠は、前座・二ツ目・真打が東京のシステムで「大阪では、おもしろい人が高座に上がってええねん、おまえもやってみたら」と言ってくださいました。そこで、ゆっくりでいいので、一つの演目を教えてくださいとお願いしました。

1年間、毎月1回、大阪に行き、『動物園』という噺を仕上げていただいて、2011年、念願の初高座に上がりました。落語という言葉に出会ってから20年目くらいのことです。

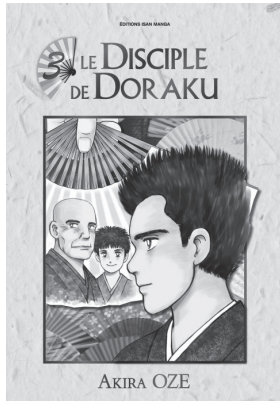
その後、江戸落語の三遊亭竜楽師匠とも知り合うことができました。海外の現地の言葉で落語をする「8か国語落語」をされています。染太師匠も竜楽師匠もいろいろとアドバイスをしてくださり、ありがたいです。僕は人に恵まれているなと思います。

日本とフランスで落語を口演 —これまでとこれからの活動

今は、日本国内とフランスで高座に上がっています。フランスでは、2014年7月に、アビニョンの世界最大の演劇祭に、染太師匠、竜楽師匠と参加して、1か月口演をしました。昨年10月には、ニューカレドニアでフランス語圏の語り部のフェスティバルで高座を



ニューカレドニアの語り部フェスティバルで。海外に行くときは、座布団、めくり、着物、扇子、手ぬぐい一式全部持参する。



左:『動物園』を口演。表情豊かで楽しい高座はぜひ生で見てほしい。

右:フランス人に落語を紹介したいと思い漫画『どうらく息子(尾瀬あきら著 小学館)』をフランス語に翻訳したときは、自分も修行している気分になった。(ISAN MANGA 刊)

務め、12月には、パリの日仏文化会館で、竜楽師匠と、落語と浮世絵をテーマにした会に出演しました。

今年は、2月24日から26日までトゥールで行われた、ジャパン・トゥール・フェスティバルに参加しました。口演が2回と講演会とワークショップ。ワークショップでは、手ぬぐいやお箸の使い方を教えて、集まったコスプレ好きの若者たちにやってもらいました。おかげさまで好評で、来年のフェスティバルにも参加が決まりました。来年は3月9日から11日。染太師匠と参加して、同時にフランスツアーもやろうと考えています。

日本では、今年の12月に、ステファンと一緒に全国ツアーをします。今回で3回目です。僕が日本語、彼がフランス語でやって日本語字幕を付けます。来年は、日仏文化交流160周年なので、口演の機会も増えると思います。

日仏の文化と言語を自在に行き交う 「落語パフォーマー」

僕が「落語パフォーマー」と名乗るのは、修行をしていないから。修行をした人だけが「落語家」と名乗れるのです。そこはわきまえないといけません。

基本的に日本では日本語、フランスではフランス語で演じていますが、アドリブでお互いの言葉を入れています。フランスの観客は、日本語を聞きたい人がほとんどなので、まったく日本語を使わないと不満なんです。

最近よくやる噺は上方落語の『手水廻し』です。大阪弁の言葉遊びなのですが、最初にフランス語で説明すると、よくわかってくれます。上方落語は、動きが大きく派手なので、外国人に伝わりやすいですね。

フランスでは、ステファンの奥さんがフランス語で脚本を書いた『皿屋敷』をやっています。

落語は伝統話芸ですが、世界中どここの国でも通じます。こんなすばらしいものを日本人だけしか知らないのはもったいない。また、新しい風を入れていかないと、伝統は停滞してしまいます。外国人である僕が落語をする意味もそこにあると思っています。

これからしたいのは、落語の「学校」を海外で開くこと。まずは3週間くらいのワークショップで日本食と組み合わせてもいい。落語に取り組む人を増やして、日本語のすばらしさ、話芸のおもしろさを伝えていきたいです。

日本語の勉強にも落語を —日本語を勉強している人たちに

僕が勉強した経験から言うと、言葉で大切なのは、リズム感。できるだけネイティブの話聞いて、リズム感のある生きた日本語を覚えること。たとえば、「さようなら」というあいさつも、現実では聞いたことがない。「またね」「じゃあね」、フォーマルなら「失礼します」。実際に「さようなら」と言われたら、この人は僕に二度と会う気がないんだろうなと思うくらい。「ありがとう」への返答にしても、「どういたしまして」よりは、「いいえ」とか「全然」とかがふつうでしょう。教科書はもちろん大事ですが、それだけではなく、生きた日本語を身に付けてほしいです。

そのためにも、日本語学習者に落語を知ってほしい。寄席は生きた言葉の宝庫です。日本語学校でも、学習の一環として、寄席に行ったらいいと思います。同じ噺を何度も聞けるので、日本語の勉強にもなります。外国人が一人で寄席に入るのは、なかなかハードルが高いので、まずは教える人たちがきっかけを作ってほしいですね。(談)

・コピーニさんの今後の口演予定は、ホームページをご覧ください。<http://cyco-o.com>

シリル・コピーニ (尻流複写二)

1997年6月、フランス国立東洋言語文化研究所(INALCO)卒業。在学中文部科学省(当時文部省)の国費留学生として、信州大学に1年間留学。INALCO卒業後、フランス政府が運営するアンスティチュ・フランセ九州(当時九州日仏学館、福岡市)に勤務、2001年、東京のアンスティチュ・フランセ日本に異動し、現在は音楽によるフランス文化の紹介を担当。落語パフォーマー尻流複写二としての活動とともに、日本漫画のフランス語翻訳等も行っている。

大好きなアイドルを通じて日本語を学ぶ

— 京都のお菓子屋で働く廖さんに聞きました。

— 現在、日本でどんな仕事をしていますか。

京菓子處「鼓月」というお店の京都本社で働いています。日本国内の催事の手伝いをしながら、台湾のお店の状況を確認しに、だいたい2ヶ月に1回の頻度で台湾へ出張しています。台湾の店舗の在庫管理や売上、商品の陳列のチェックなどを行い、売上向上のための改善点をアドバイスしています。

今の仕事は、2年前、台湾で開催された日本物産展で出会いました。その時ちょうど「鼓月」の台湾出店が決まり、スタッフを募集していました。

— 京菓子は台湾人に人気がありますか。

日本の文化に興味をもっている台湾人が多いので人気があると思います。台湾人は抹茶味が好きな人が多いので、何種類もの抹茶味の商品を用意し、販売しています。特に「緑山薫風」という抹茶入りのパウンド生地で作られたお菓子が一番人気があります。

— 日本語の勉強を始めたきっかけは何ですか。

15歳の時、ジャニーズのアイドルグループにはまったのがきっかけで、日本語の勉強をしようと決めました。いつか日本に行ってジャニーズのコンサートを見たいという気持ちだんだん大きくなって、もし台湾でコンサートを開く日があるなら通訳としてその場に立ちたいと、夢を見ながら、必死に日本語を勉強しました。

— 日本語が難しいと思うことはありますか。

違う国の言葉を勉強するのは難しいと思います。興味があるかないかが一番重要なポイントかもしれません。日本語を勉強し始めた頃、毎日雑誌の短い記事を読んでいた



廖雅惠 (りょう がけい)

台湾新北市出身、30歳。南台科技大学応用日語学科卒業後、26歳の時、ワーキングホリデーで来日。帰国後、京菓子處「鼓月」の台湾支店に就職。販売員として経験を積み、2016年6月京都嵐山店に配属が変わり、現在京都本社に勤務。趣味は、スポーツ、日本のドラマやコンサートを見ること。好きな俳優は、北川景子、戸田恵梨香。ニックネームは、みやび。

したが、読めるようになるまで知らない単語を30分以上調べていた時期もありました。

仕事は、言葉や文化はもちろん、職場の雰囲気も違うので、慣れるまでは時間がかかりました。日本では敬語の使い方、上司と部下、先輩と後輩の関係をすごく重視するので、苦手な敬語を今も仕事をしながら勉強し続けています。

— 来日する前はどんなことをしていましたか。

大学では日本語を専攻し、いつか日本で暮らしてみたいと思っていました。三年生の時は交換留学に行けず、四年生の時、ようやく日本のワーキングホリデーの申請ができ

ると知り、それを目標としてしばらくは、台湾で開催していた日本物産展でバイトをしました。日本人の店長には、めちゃくちゃな単語と文法を使って日本語を話したこともありましたが、意味が通じた時は本当に嬉しかったです。

バイトで経験を積んだ後、2013年によくワーキングホリデーで来日することができました。来日後、まず仕事を探しましたが、いろんなところに断わられて、すぐ落ち込んで焦りました。ようやく外国人を雇ったことがあるファーストフード店とお好み焼き屋でバイトを始めることができました。

お店ではレジや注文を担当し、難しい接客用語ばかり使わなければならなかったのですが、日本人と話すのが怖かった時期もありましたが、今思い出してみればいい経験になったように思います。

その年は、一番好きなジャニーズグループの「NEWS」が、ちょうど10周年を迎えた年で、この期間に3回もコンサートへ行くことができました。人生で一番充実した幸せな一年になりました。

— ジャニーズのグループが本当に好きなんです。

特に「NEWS」は、デビューからずっと応援してきましたが、今のメンバーがデビュー当時の半分以下の数になってしまったこともあり、メンバーとファンの絆はもっと深くなりました。その諦めない心、認めてもらうための努力、前を見て進んでいる姿を見て、勇気をもらいました。

日本語を勉強して乗り越えなければならぬ時も、ワーキングホリデーでさびしさを感じた時も、今一人で日本にいても、「頑張って、諦めないで」って自分に声をかけてくれています。



日本語ご紹介

国内編

奈良県 北葛城郡王寺町



西和自主夜間中学の20年

西和自主夜間中学

山本直子

はじめに

西和自主夜間中学は、1998年5月に奈良県王寺町で開校し、今日に至っています。開校当時、奈良県には3つの公立夜間中学(春日・天理・畝傍)と1つの自主夜間中学(吉野)がありました。それぞれの学校には、運動団体「つくり育てる会」もしくは「つくる会」があり、それらを繋ぐ「奈良県夜間中学連絡協議会」がありました。

私たちは、その連絡会からの呼びかけに応える形で、夜間中学がなかった奈良県西和地域(奈良県の北西部に位置し、大都市大阪に近く、ベッドタウンとして近年開発が進んだ地域。JR王寺駅を中心にして交通の要所でもある。)に西和自主夜間中学を開校することになりました。

夜間中学で学ぶ生徒さんたち

「夜間中学」とは、さまざまな理由で学齢期に義務教育を受けることができなかった生徒さんたちが、大人になってから学びを取り戻す場として、全国に存在していますが、西和自主夜間中学で勉強している生徒さんたちは、実は8割が外国籍やルーツを外国に持つ方々です。その傾向は設立から今日に至るまで変わらず、現在は10カ国、約20人の生徒さんたちが勉強しています。

生徒さんたちは、結婚渡日・就労(日系人とその家族、実習生)・ALT・留学生など様々で、それぞれのレベルに合わせて日本語を学習しています。日本語能力試験を目標にしている生徒さんもいます。また、大人だけでなく、ルーツを外国に持つ小学生や中学生、高校生が教科学習をしています。開校当時は、日本語学習に来ている親に連れられて、子どもたちが宿題をしていたのですが、成長



左：生徒さんたちの国籍、年齢、学習目的はさまざまですが、皆熱心に学んでいます

下：日本語に加え、教科学習のサポートも。答えがわかった時の生徒さんの笑顔は格別

するにつれ、目標が高校受験となり、そのための力をつけるために学習するようになりました。ご家庭での会話は母語となることが多いため、日本語のサポートを行いながら、教科学習の基礎を中心に勉強しています。

「日本語を勉強して車の免許が取れ、生活が楽しくなった」「学校に行くと、嬉しくて元気が出る」といった生徒さんたちの声は、夜間中学での学びが生徒さんたちの日々の暮らしにつながっていることを感じさせ、嬉しく思います。

自主夜間中学の運営

学校は、王寺町地域交流センター(JR王寺駅に隣接する商業ビルの5F)のフリールームで、毎週火曜日と木曜日の午後6時から9時に開校しています。生徒さんたちは日課に合わせ、来られる時間に教室に入り、必要な時間を「スタッフ」と呼ぶ先生とマンツーマンで勉強しています。学校の運営にかかる費用は、趣旨に賛同する会員からの会費と広域行政の支援金によって賄っています。生徒さんの費用負担はありません。

今、つくづくと思うこと

無我夢中で西和自主夜間中学と共に歩んできましたが、何よりも日々の生活や仕事に



追われながらも、懸命に学習される生徒さんたちの頑張りに励まされてきました。“教えているはずの、いいえ、お世話をしているはず”の私たちが、実は生徒さんたちからいろんな力をもらって人として成長させていたように思います。そして、無償のボランティアにもかかわらず、ご自分の高い能力や時間・お金を提供して下さっているスタッフの皆さんの気持ちに感謝したいと思います。

スタッフは生徒さんの学習にだけ寄り添ってきたのではなく、時には生徒さんたちが抱える問題を事務局一体となって体当たりで解決したりもしてきました。西和自主夜間中学の20年は、そのまま日本が国際化していく中で抱える問題の縮図でもありました。

ここ数年は、学齢期の生徒さんたちの存在が顕著になってきていることから、生徒さんたちそれぞれがアイデンティティを大切にできる居場所として、西和自主夜間中学があり続けられればと願っています。



海外編

フランス アラス



北フランス、アラスの日本語教室

アラス・日仏友好協会

日本語教師 青木佑介

Bonjour! 北フランスのアラスという町で活動している、アラス・日仏友好協会です。私たちの日本語の授業についてご紹介いたします。アラスをご存知ないという方も多いと思いますので、まずは町について簡単にお話ししておきましょう。

アラスはパリからTGV（高速鉄道）で1時間の距離にある、人口4万人ほどの地方都市です。フランス革命期の政治家、ロベスピエールの出身地として知られ、日本の漫画『ベルサイユのばら』に登場する他、フランスの文豪ヴィクトル・ユゴーの『レ・ミゼラブル』にも描かれます。第一次世界大戦中は激戦地となり、町中や郊外には多くの戦跡が残されています。

小さな町ですが、日本への関心は高く、盆栽や囲碁のクラブが活動している他、毎年10月には「アラス日本祭り」が開催されています。

アラス・日仏友好協会

アラス・日仏友好協会は、早川セナー和子先生が発起人となり、アラスで日本語と日本文化に触れられる場を作ることを目的に2001年に設立されました。協会ができたおかげで、日本に興味がある人同士の繋がりも生まれ、今日では、近隣の町からも授業を受けに生徒が来るようになりました。

協会では、会長のマルティンヌ・ノエが中心となり、日本語教室の運営の他、クリスマスと年度末の6月にパーティを企画し、異なるレベルで学んでいる生徒、以前学んでいた生徒が集う機会を設けています。また、10月の「アラス日本祭り」では折り紙教室や習字体験教室を開き、訪れる人たちに広く日本を紹介しています。



レベル2のクラスの様子。生徒の家にホームステイに来ていた日本人学生が授業を見に来ました。

日本語教室のようす

日本語教室では10代から60代まで、幅広い年代の人が一緒に勉強しています。職業別でみると、学生（小学生～大学生）が最も多く、それに続くのは、教員または元教員です。他にも、料理人、サラリーマン、銀行員、公務員、既に仕事を定年退職した人もいます。

レベルは3段階あり、各レベル、週に1回、1時間半の授業です。レベル1は日本語を初めて学ぶ人を対象にしており、ひらがな、カタカナから学び始め、3年かけて『みんなの日本語初級Ⅰ』を学び終えるよう進めていきます。2年目のレベル2からは『みんなの日本語初級Ⅰ 漢字』を取り入れ、3年目のレベル3では簡単な日本語を初見で読めて意味を理解できるようになることを目指します。レベル3のクラスには、既に3年学び終えた後、復習のために再び授業を受けに来る生徒もいます。レベル1と2のクラスは、日本語の文字に慣れていない生徒が多いので、アラス在住の日本人、佐野フラモン道子さんがアシスタントとしてサポートしてくれています。

日本語の世界観に目を向ける

一つ一つの言語は、他の言語とは異なる方法、異なる視点で現実世界を見ています。

外国語を学ぶ面白さは、そうした新しいものの見方を知ることにあると考えています。

以前、同音異義語の「橋」「端」「箸」について学びました。初級学習者は、アクセントの微妙な違いや、漢字の違いから意味を識別することに難しさを感じていました。そこで、見方を変え、どの語も共通して「間」を含意することに目を向けたのです。これらの語は同源であり、「橋」は離れた端と端の間に掛け渡されるものを、「端」は異なる領域の間を、「箸」は食べ物と食べ物と肉とを媒介するものを表していると説明しました。

言葉の成り立ちを通して意味の繋がりを知った時、生徒のこれらの単語に対する印象は「難しい」から「面白い」に変わりました。語源に遡り、そこから見えてくる言葉の組織網に目を向けたことで、日本語がどのように現実世界を分類し、名付けているのかを知ることができました。

生徒たちにとって、母語と構造が大きく異なる日本語を学ぶことは易しいことではないと思いますが、日本語の世界観の中にある日本文化の面白さを感じながら楽しんで学んでもらえるよう、工夫して授業を行っています。

教材紹介

はじめて学ぶ介護の日本語 基本のことは

三橋麻子・丸山真貴子・堀内貴子・西己加子 著

B5判 約300頁 2,600円+税 6月発行予定

**NOW
PRINTING**

「はじめて学ぶ介護の日本語」シリーズ第1弾！

明海大学／大原学園 非常勤講師

三橋麻子・丸山真貴子

先般、在留資格「技能実習」への「介護」の導入、在留資格「介護」の新設がされることとなりました。これにより、介護業界における外国人の日本語教育の必要性が高まっています。しかしながら、介護という専門性の高い分野を学ぶことも、日本語教育の立場で教えることも容易ではありません。

まずは、専門性の高い介護知識の学習において、専門用語とその周辺語彙を学ぶことが必須となります。本テキストは、2008年からEPA（経済連携協定）介護福祉士候補者への学習支援をし、研究を続けてきた日本語教師と大学や日本語学校で教鞭をとる現役の日本語教師が、専門家の意見を聞き、知恵を出し合い、作成した「外国人のための介護の基本語彙」の教材です。

1. 学習対象者

日本で介護関係の仕事に就くことを目指し、福祉系の大学や専門学校で学ぶ学習者が主な対象で、すでに介護の現場に携わっている方も使えます。初級修了レベル以上で、初めて介護について学ぶ学習者が専門知識を学ぶ前の教材として、また辞書替わりとしてもご使用いただけます。

2. テキストの理念

本テキストは、介護の基本語彙について①読みと意味を知る、②ことばと例文から介護全体のイメージを養成する、③介護の場面での使用が意識できる、としています。ここで示す「介護の基本語彙」とは、介護の分野で最低限必要とされることばのことを指しています。また、介護現場で実際に必要なことばを学ぶことを重視しています。

3. テキストの構成と特徴

5つのPartがあり、Part1 施設のことば、Part2 体・体調のことば、Part3 介護のことば、Part4 制度のことば、Part5 まとめの問題、でまとめられています。

学習語彙は1,500語取り上げており、図の②読み方③翻訳（英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語）④語彙との関係（同義語、対義語）⑤語彙の特徴（共起、略語）⑥例文⑦イラストの6つと一緒に提示しました。これらと一緒に語彙を学ぶことで、介護の知識を得、イメージが図れ、どのように使われるのかということがわかるようになっていきます。さらに、読みがなは赤字で記載されているので、付属の赤シートで、繰り返し読みの学習ができます。

特筆すべきこととして、学習語彙に同義語が多く提示されていますが、これは介護現場で、口頭と記録では表現方法が違って、同じ意味を持つ語彙が多くあるためです。さらに言えば、口頭表現でも一般的なことばとコミュニケーションをとる際のことばでも、違いがあります。

例えば、「囁む」というのは一般的なことばとして使用、「咀嚼」というのは専門用語で介護現場の申し送りや記録時において使用、「もぐもぐする」は、介護現場の要介護者との声かけ、コミュニケーションをとる際に使用しています。これらを別々に覚えるのは、学習者には負担です。ことばが違って、同じことを指していることがわかりやすいよう、まとめて提示してあります。

このテキストは、語彙とともに現場のイメージをつかむことができる、介護現場への橋渡し教材にもなっています。また、「はじめて学ぶ介護の日本語」シリーズとして、介護に必要な専門的な知識、介護現場で必要な日本の生活知識（基本の食事・介護食など）やコミュニケーション技術（利用者への声掛けや記録など）を学ぶテキストも発刊予定です。これから介護関係を勉強したい、教えたいという方に手にとっていただけたら、幸いです。

介護のことば

Part 3

①学習語彙

②読み方

③翻訳

831	移動 いどう する いどう	Move, relocation	di chuyển
		移動	Bergerak berpindah tempat (dari kamar ke kantin)
	昼食の時間になったので、居室から食堂への移動を促す。		
832	移乗 いじょう する いじょう	Transfer	chuyển, di chuyển
833	トランスファー する どらんすふぁー	移乗	Transfer; Berpindah tempat (jarak dekat : dari kursi roda ke bed)
	略 トランス		
	患者をベッドから車椅子へ移乗する。		

④語彙との関係

⑤語彙の特徴

⑥例文

⑦イラスト

**NOW
PRINTING**



なんでも情報 BOX

Books ほん

すべて本体価格です

みんなの日本語初級Ⅱ 第2版 翻訳・文法解説 ロシア語版(新版)	5月発行予定	2,000円
みんなの日本語初級Ⅱ 第2版 漢字 ベトナム語版	6月発行予定	1,800円
みんなの日本語中級Ⅱ 翻訳・文法解説 韓国語版	6月発行予定	1,800円
新完全マスター語彙 日本語能力試験N3	6月発行予定	1,200円
はじめて学ぶ介護の日本語 基本のこたば	6月発行予定	2,600円
文法まとめリスニング 初級1—日本語初級1 大地準拠—	6月発行予定	2,200円
みんなの日本語初級Ⅰ 第2版 翻訳・文法解説 ビルマ語版	7月発行予定	2,000円
みんなの日本語初級Ⅰ 第2版 聴解タスク 25	7月発行予定	2,000円
小説 ミラーさん —みんなの日本語初級シリーズ—	7月発行予定	1,000円
新訂版 読むトレーニング 基礎編 日本留学試験対応	7月発行予定	1,200円
人を動かす! 実戦ビジネス日本語会話 中級2	7月発行予定	2,400円(予価)

Seminars セミナー

日本語教師のための入門言語学 in 札幌

講師：原沢伊都夫(静岡大学国際交流センター教授)

日時：5月27日(土) 14:00-16:00
(受付開始 13:30)

会場：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前「すずらん」
(札幌市中央区北四条西 6-1 毎日札幌会館 5 階)

定員：60名(先着順。定員になり次第締め切ります)

参加費：無料

問合せ／申込み先：スリーエーネットワーク

主催：スリーエーネットワーク

協力：北海道日本語教育ネットワーク

『日本語教育のスタートライン—本気で日本語教師を目指す人のための入門書』発行記念セミナー 地域でも、学校でも「プロフェッショナル」な日本語教師を目指すために in 福岡

講師：荒川洋平(東京外国語大学国際日本学研究院教授)

日時：7月8日(土) 14:00-17:30
(受付開始 13:30)

会場：九州英数学館国際言語学院 本館 4 階 41 番教室
(福岡県福岡市中央区舞鶴 1-5-30)

定員：80名(先着順。定員になり次第締め切ります)

対象：日本語教師を目指している方・日本語教育の経験の浅い方

参加費：2,000円 ※当日受付でお支払いください。一度お支払いいただいた受講料はご

返金できませんので、ご了承ください。

問合せ／申込み先：スリーエーネットワーク
お申込みの際は、セミナー名・お名前・ご所属・ご住所・お電話番号、及び「日本語教授歴」・「この講座に期待すること」を明記してください。
電話での申込みはお受けできませんので、FAX、E-mail、はがきにてお申込みください
主催：スリーエーネットワーク

運用能力を育てる中級からの指導 —『みんなの日本語 中級Ⅰ／Ⅱ くり返して覚える単語帳』を中心に—

講師：高梨信乃(関西大学外国語学部教授)

日時：7月22日(土) 14:00-16:00
(受付開始 13:30)

会場：TKP 仙台カンファレンスセンター カンファレンスルーム 3A
(宮城県仙台市青葉区花京院 1-2-3 ソララガーデンオフィス 3 階)

定員：60名(先着順。定員になり次第締め切ります)

参加費：無料

問合せ／申込み先：スリーエーネットワーク

共催：丸善仙台アエル店・スリーエーネットワーク

*参加者には丸善仙台アエル店の割引チケットを当日お渡しする予定です。

セミナーに関する問合せ／申込み先 スリーエーネットワーク 講座係

102-0083 東京都千代田区麹町 3-4 トラ

スティ麹町ビル 2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-Mail: kouza@3anet.co.jp

お申込みの際は、参加を希望するセミナー名・お名前・ご所属・ご住所・お電話番号を明記してください。電話での申込みはお受けでき

ませんので、FAX、E-Mail、はがきにてお申込みください。

Information お知らせ

Ja-Net 発行 20 周年記念「みんなの日本語かるた」が出来ました!

Ja-Net78 号で募集しました「みんなの日本語かるた」が出来上がりました。『みんなの日本語』にちなんだ読み札と、登場人物たちのイラストが描かれた絵札をダウンロードしていただけます。授業でも、お家でも、ぜひ「みんなの日本語かるた」で遊んでみてください。

「みんなの日本語かるた」無料ダウンロード

http://www.3anet.co.jp/minna_karuta/

Ja-Net No. 81 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2017 年 4 月 25 日発行

●発行人 藤崎政子

●発行所 (株) スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-4

トラステイ麹町ビル 2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

<http://www.3anet.co.jp/>

●印刷 日本印刷(株)

© 2017 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁断転載)

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第 82 号は 2017 年 7 月 25 日発行です。